

2020年度は、おそらく人間の価値観を大きく変えてしまった年として記憶されるはずです。新型コロナウィルスは、医療のみならず、差別や人間の関係性の見直しを図るきっかけを与えました。

身体的距離はそのまま社会的距離にはつながらないとしながらも、やは り人と人の距離をうめる作業は創造力を必要とします。

今回は研究会を通して、このコロナウィルスの時代に、人々がどうやってつながっていこうとしているのかを様々な見地から考えていこうと思います。まずは人々を繋げるコミュニティとしての宗教の観点から、作家であり、仏教徒の瀬野美佐さんをお迎えして、コロナウィルスの中での宗教とコミュニティの取り組みについてお話を伺おうと思います。

●話題提供者: 瀬野美佐(せのみさ) 仏教徒・作家

●日時: 2020年10月20日(火)19:00~21:00

●場所:居場所「カドベヤ」

横浜市中区石川町5丁目209-3 1階

http://www.kadobeya2010.net/access/

●参加費無料 参加定員 10名

今回は、コロナウィルスの感染予防のため、<u>申し込み先着10名様の</u>み限らせていただきます。申し込みなしでの当日参加はできません。

- 参加ご希望の方は、慶應義塾大学 法学部・横山千晶 (chacky@keio.jp)まで申し込んでください。
 - ●なお、参加に当たっては、以下のことをお守りください。

・マスクの着用 ・入室時の体温チェック ・手洗い ・手指の消毒 なお、当日体調のすぐれない方は、参加をお控えください。

主催 居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会

慶應義塾大学教養研究センター

助成: 横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト 2020 アートサイト